



平成 27 年 10 月 5 日

各 位

会社名 株式会社ビックカメラ
代表者名 代表取締役社長 宮嶋 宏幸
(コード番号：3048 東証一部)
問合せ先 取締役経営企画本部長 安部 徹
TEL 03-3987-8785

通期業績予想の修正および子会社の通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 10 月 14 日に公表した平成 27 年 8 月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、当社連結子会社である株式会社コジマは、本日、平成 27 年 4 月 9 日に公表した平成 27 年 8 月期の通期業績予想を添付資料のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

通期業績予想の修正

平成27年8月期通期連結業績予想数値の修正（平成26年9月1日～平成27年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 812,000	百万円 20,500	百万円 20,500	百万円 10,200	円 銭 59.39
今回修正予想(B)	793,800	18,800	20,400	6,800	39.23
増減額(B-A)	△18,200	△1,700	△100	△3,400	
増減率(%)	△2.2	△8.3	△0.5	△33.3	
(ご参考)前期実績 (平成26年8月期)	832,748	20,014	24,056	9,850	57.35

(注) 当連結会計年度より会計方針の変更及び表示方法の変更を行っており、平成 26 年 8 月期についても、当該会計方針の変更及び表示方法の変更を反映した遡及適用・組替後の数値を記載しております。

修正の理由

売上高につきましては、エアコンが 6・7 月の最需要期に天候不順の影響を受けたこと、またパソコンが前年の WindowsXP のサポート終了に伴う特需の反動減からの回復が遅れていることから、主として株式会社コジマにおいて予想を下回りました。

営業利益および経常利益につきましては、粗利率は想定を上回ったものの、上記の売上高の要因により予想を下回りました。

当期純利益につきましては、減損損失 1,520 百万円を特別損失に計上、また株式会社コジマにおいて繰延税金資産の一部を取崩し多額の法人税等調整額を計上する見込みとなったことから予想を下回りました。なお、この取崩しは、当社グループのキャッシュ・フローに影響を及ぼすものではありません。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

以 上

添付資料



平成27年10月5日

各位

会社名 株式会社コジマ
代表者名 代表取締役会長兼社長 木村 一義
(コード番号 7513 東証第一部)
問合せ先 取締役執行役員経営企画本部長 荒川 忠士
TEL 03-6907-3114
当社の親会社 株式会社ビックカメラ
代表者名 代表取締役社長 宮嶋 宏幸
(コード番号 3048 東証第一部)

業績予想の修正、特別損失の計上および繰延税金資産の一部取崩し ならびに剰余金の配当（無配）に関するお知らせ

当社は、平成27年4月9日に公表いたしました平成27年8月期（平成26年9月1日～平成27年8月31日）の通期業績予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

また、特別損失の計上および繰延税金資産の一部取崩しならびに剰余金の配当（無配）について、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成27年8月期通期業績予想数値の修正（平成26年9月1日～平成27年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	236,000	3,000	2,100	440	5.65
今回修正予想 (B)	226,000	900	1,220	△6,350	△81.50
増減額 (B-A)	△10,000	△2,100	△880	△6,790	
増減率 (%)	△4.2	△70.0	△41.9	—	
(ご参考) 前期実績 (平成26年8月期)	262,216	2,421	5,699	1,042	13.37

当社は、平成27年8月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、(ご参考) 前期実績（平成26年8月期）の経営成績は個別業績を記載しております。

また、当社の商品の評価方法は、従来、総平均法によっておりましたが、平成27年8月期第1四半期会計期間より移動平均法に変更しております。なお、(ご参考) 前期実績（平成26年8月期）の数値につきましては、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

(2) 修正の理由

売上高につきましては、4Kテレビの普及拡大によりテレビが順調に推移したものの、6・7月の天候不順による夏商戦の不振もありエアコン・冷蔵庫等が低迷したことに加え、Windows XP のサポート終了に伴う特需の反動減からの回復が遅れておりパソコンが低調に推移した結果、前回予想を下回る見込みとなりました。営業利益につきましては、継続して実施している経費削減策に努めてまいりましたが売上高の減少に伴う売上総利益の減少が大きく影響し、前回予想を下回る見込みとなりました。経常利益につきましては、将来発生する可能性がある損失を見込んで計上しておりました店舗閉鎖損失引当金が、当初よりも損失見込みが減少となり営業外収益に戻入額を 1,189 百万円計上する見込みとなりましたが、営業利益の減少により前回予想を下回る見込みとなりました。当期純利益につきましては、経常利益と同様の理由に加え、以下に記載いたしました通り特別損失の計上および繰延税金資産の一部取崩しを行うこととなり、当期純損失 6,350 百万円となる見込みとなりました。

2. 特別損失の計上について

収益性の低下により投資額の回収が見込めなくなった店舗について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理をおこない、減損損失 1,040 百万円を特別損失として計上する見込みとなりました。

3. 繰延税金資産の一部取崩しについて

当社における当期及び今後の業績の見通しや平成 27 年度税制改正による法定実効税率の変更等による影響を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、その一部を取崩すこととし、法人税等調整額を 6,284 百万円計上する見込みとなりました。

4. 剰余金の配当（無配）について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 26 年 10 月 9 日)	(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 8 月期)
基準日	平成 27 年 8 月 31 日	同左	平成 26 年 8 月 31 日
1 株当たり配当金	0 円 00 銭	4 円 00 銭	4 円 00 銭
配当金の総額	—	—	311 百万円
効力発生日	—	—	平成 26 年 11 月 26 日
配当原資	—	—	資本剰余金

(2) 配当見送りの理由

当社の配当方針につきましては、株主の皆様に対する収益性、会社の今後の収益予想、企業基盤の強化等を十分理解し、業績に裏づけされた成果の配分を行うことを基本方針としております。

しかしながら、上記に記載しましたように平成 27 年 8 月期通期の当期純損失の見通しが 6,350 百万円となる見込みとなりました。期末配当予想につきましては、「平成 26 年 8 月期 決算短信」にて 1 株当たり 4 円と発表しておりましたが、今期の配当につきましては誠に遺憾ながら見送らせていただきます。

株主の皆様におかれましては、何卒事情をご理解の上、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

(注) 本資料の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、今後さまざまな要因によって上記予想数値と異なる可能性があります。

以上